

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙・「みらい」
NO. 3858
18年5月29日(火)
・Fax 095-828-1953

朝日への誤報攻撃は 戦争へと続く道だ

おはようございます。

政治に喝！ 森友、加計学園、防衛省の日報問題などでの国会の姿だ。嘘で塗り固め、疑惑を否定する政治家、官僚に、国民は怒っているが、事態が進展しない。一番は、国が文書を廃棄しておいて、証拠を示せ」と居直っているからだが、これは政治家以前に、人としても正しくない。

七〇〜八〇年代に自民党政権の官房長官を務めた後藤田正晴は、自著の「政治とはなにか」のなかで、若い官僚に對して「役人の高い志が国を支える」と説き、「役人が国の仕事をするときには、公平かつ公正でなければならぬし、同時に、廉潔、誠実であれ」といつている。

だが、こうしたことは分かったうえで、現在の疑惑に「問題なし」とする安倍内閣の閣僚と官僚などは、いわば確信犯なのだ。彼らには、森友、加計問題や、防衛省の日報廃棄など、とるに足りない「出来事」なのだ。一例だ。日報問題で首を斬られた稲田前防衛相は、国会の追及に「しらを切り通した」ことで、「国家機密」を守ったと評価されているというから驚きだ。

海外の自衛隊の戦闘の有無



の事実検証で、防衛省が組織ぐるみで情報を隠すことは犯罪である。これでは国民主権の基本が成り立たない。まさに戦前の軍部の秘密主義、独走と同じ体質ではないか。

政治とは言葉と記録・文書であり、政治家の命も言葉である。国会でも、委員会には必ず速記官がいて、記録を取っている。録音や録音の時代にも、これは変わらない。にもかかわらず、議員や官僚たちは、「記憶がない」「記録がない」と、言い続けている。しかし嘘は信を失わせ、正義も失わせる。まさに政治の原点が崩壊しているのだ。



デマだというのだ。しかしはつきりしているのは、そもそも朝日がこれらを報道しなければ、森友、加計疑惑も、防衛省の情報隠しも、一切表に出なかったことは明らかであり、国民は知らされなかったのである。

朝日の誤報だと大騒ぎする人は、疑惑と利権とウソがばれては困る人たちであり、だから意図的に朝日を攻撃するのだ。これはトランプのフェイクニュース攻撃と同根の政治現象だ。だが政権を監視し、批判するマスコミこそ、国民に真実を伝える唯一の手段であることは、今も昔も変わらない。

孔子は人の生き方として、「信なくば人は立たず」と論語でいつている。「政治にとって最も大切なことは何か」と弟子に問われた孔子が「軍備を整えるのでもなく、食糧を満足させることもなく、人々が政治に信をおくようであればならぬ」と答えた」とされる。

しかしネットなどでは、安倍内閣の疑惑情報は、朝日新聞記事のすべてが事実無根の

戦前だが、軍を批判した朝日新聞を、軍や政治家や右翼が攻撃し、廃刊の危機が幾度もあった。

いまからちょうど百年前の一九一八(大正七)年八月二六日の朝日新聞の記事を口実に、国は朝日新聞を発禁処分とする。右翼もこれを受けて当時の村山社長を襲撃し、社長はこれで交代する。

また戦争とファシズムの直接のきっかけとなった一九三六(昭和十一年)の二・二六

事件(クーデター)では、朝日新聞社も襲撃された。反乱軍の将校は、新聞社に乱入し、銃で社員を威圧し、「国賊・朝日」と怒鳴って、社内を破壊している。(いまも右翼はそういつているが)

そして時代は戦争へと入る。このとき、日本の新聞社・通信社の百三十三社は、「満州国の独立支持の共同宣言」を出し、全面的に戦争へ協力を始める。それもこれも、戦前にあった言論、出版取締法というものが影響している。法律は、「造言・蜚語、人心かく乱の禁止」とされ、国(公安特高警察)がこれに違反すると認めたら、新聞社の社員らは処罰されたからだ。このマスコミの敗北の歴史と反省は、いまもマスコミの内部に強く残る。



そして今だ。その後藤田は、日本の政治・外交で一番大事なことは「平和である」と書き、とりわけ、自衛隊を海外へ派兵しないことだと書いている。

これに反して、何が何でも海外派兵という既成事実を優先させたい安倍内閣の政治がここにあり、わけても稲田前防衛相の情報隠しはその核と

なる。海外での戦争準備で安倍政治は動いている。その中で彼らには国民主権という意識などみじんもないことの証明が、日報隠しである。

戦争を記録した「知識人と言論弾圧の記録」の本によると、「戦争の発生は、日本では常に世論を逆転させた。政府は常に中国側の排日、侮日を理由として、軍を出动させて、その名目は居留地民保護とされていた。まさに「暴支懲罰」が国民世論となつたのである。「人々は口々に「万歳」を叫び、日の丸小旗を振つたのだ」と当時の政治と軍の戦闘への翼賛ぶりを書いている。

現在の嫌韓、嫌中の世論つくりの日本と比べ、どう違つたろう。

マスコミが国や自衛隊や政治を監視し、疑惑があれば批判することが、いかに大事であるかは、戦争の時代、あるいは、国民主権の時代であるからこそ、さらに大切なのである。こそは泥棒の始まりとは、親が子供へ説く、人の基本である。これを守れない、うそつき政治家はやめる。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。